原稿様式

令和６年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

東白川村青少年健全育成村民会議

１．共通推進３運動の実施

- 明るいあいさつ・履き物そろえ運動
- お願いします、ありがとうございます運動
- 大人から示そう子どもによい手本運動

本村では、各教育関係団体の会議資料に上記３つの文言を入れて啓発しており、この共通推進３運動を村ぐるみで推進することで、青少年健全育成に関する取組みを行っています。

２．子ども応援委員会の開催

保育園・小中学校の学期末に、共通推進３運動に関する意見をいただく場として、子どもに関わる各団体の代表者で構成する「子ども応援委員会」を開催しています。会議では、保育園・学校・地域での子ども達の姿について情報交換や意見交流を行い、各場所での姿や家庭での様子を共通理解することで、村ぐるみで子ども達を見守る体制を大切にしています。

なお、この会の構成メンバーは次のとおりです。

（青少年育成推進員（岐阜県青少年育成推進指導員含む）、社会教育委員、小中学校長、小中生徒指導主事、小中ＰＴＡ会長、子ども会育成連絡協議会長、保育園長、保育園保護者会長、高校生保護者会長、教育長、教育委員会事務局（教育課長、教育主幹、教育係、子育て支援係））

３．村の広報誌やＣＡＴＶを活用した周知活動

村の広報誌やＣＡＴＶを活用して、本会の活動について情報発信を行っています。地域の行事（年中行事やお祭り）や子ども会活動、少年の主張大会などでの子ども達の様子を地域住民の皆さんに周知しながら、村民会議の活動を推進しています。

４．子ども応援委員会だよりの発行

子ども応援委員会での共通理解をもとに、村ぐるみで子どもを見守るため長期休暇期間（夏休み、冬休み、春休み）の啓発として年３回「子ども応援委員会だより」を発行し、新聞折込で全世帯に配布しています。チラシには各長期休暇期間の地域への見守りのお願いや村民会議の活動報告、また、小中学生の取り組む情報モラルの約束事を掲載し、子どもを取り巻く環境の現状を伝えています。